

2025(令和7)年度「夏休み子ども理科実験・工作教室」内容一覧

<日時>8月7日(木)、8日(金) 13:00-16:30

対象 学年	タイトル	概要
1・2年	自分だけのオリジナルけしゴムをつくろう！	毎日つかっているけしゴムを自分でつくってみよう。けしゴムはプラスチックからできています。このプラスチックからできたゴムが、えんぴつで書いた字をこすり取ることで字が消えます。このけしゴムを自分の手でプラスチックの原料からつくってみましょう。自分の好きないろとかたちの、世界にひとつだけのオリジナルけしゴムをつくりましょう。
1～4年	牛乳パックでハガキをつくろう！ ～紙すきをしよう～	牛乳パックをリサイクルしてハガキをつくろう！ リサイクルについて知ろう！
3～6年	光で、メロディを楽しもう！ ～電子オルゴールを作ろう～	ブレッドボードと呼ばれる部品を使って電子オルゴール回路を組み立てます。電池や光の力でメロディが流れる電子オルゴールを作り電子部品の働きや回路の仕組みなどを学びます。
3～6年	ビーズで多面体の宝石を作ろう！ ～算数を使って立体アートキーホルダーを作ろう～	ビーズ作家の堀部和経先生をお招きして、プラスチックビーズを1本の糸で編み上げ、多面体の宝石(立体アートキーホルダー)を作ります。
3～6年	ペットボトルでLEDランタンを作ろう！	LED(発光ダイオード)とペットボトル等を使った簡易なランタンを作りましょう。色をつけたり、まわりを明るくするように工夫をして、インテリアや非常用の明かりとして使えるものを作りましょう。
3～6年	3Dプリンタでチャームを作ろう！	PCで描いたイラストを3Dプリンタで出力してチャームを作ります。
3～6年	銅板からすてきなアート作品を作ろう！	銅板からすてきな立体アート作品やレリーフ(浮彫細工)を作ります。 ①アート作品のデッサン(下絵)を紙に書きます。 ②りんかく線にそってタガネで銅板表面に刻印します。 ③銅板裏面より、りんかく線内側をタガネでもりあげます。 ④いぶし液で銅板表面をいぶして深みを出します。 ⑤銅板表面をペーパーと仕上げ液で完成させます。
4～6年	身近なものを利用してキレイな水づくりに挑戦！ ～キレイな水をつくるには？～	(1)炭を作ってみよう。 炭は匂いを取るだけでなく、水中の汚れを取ることもできます。 この実験で使うために、まず炭を作ります。 (2)水をキレイにしてみよう。 「汚れ」を含む水にろ過などの方法により水をキレイにしてみます。 (1)で作った炭により、水の色が薄くなる様子を観察します。
4～6年	いろんな液体を使って物を分ける実験をしてみよう！	水や油、消毒液などの液体を利用して物(おもにプラスチック類)を分けることに挑戦します。分ける方法は、物の性質をうまく利用することが多いのですが、この体験では「密度」という「体積と重さの比」を用いて分けることに挑戦します。身近なものの密度を予想して確かめてもらうとともに、密度で物が簡単に分けられることを体験します。
4～6年	手作り風車で発電してみよう！	風の力でくるくる回る風車を作り、小さなモーターで電気をおこしてみよう！ 牛乳パックなど身近な材料を使って羽根を作り、風をあてるとライトが光ります。 モーターを発電機として使うしくみを体験しながら、風で電気をつくるエネルギーの流れについて学びます。
5・6年	アルミニウム板を使った オリジナルスタンプを作ろう！	アルミニウム板にマジックペンで字や絵を書きます。 その後、希塩酸と反応させると字や絵の領域は腐食されませんが、何も書いていない素地(アルミニウム)は腐食されます。その性質を利用してオリジナルスタンプを作ろう！
5・6年	化石のレプリカを作ろう！	実物の化石を用いて、本物そっくりの化石の石膏のレプリカを作ろう！

各講座の詳細、共通(自由実験)コーナーについては、ホームページをご覧ください。

ホームページ： <https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/lifelong/summer-school.html>